

宇都宮市立宝木小学校 第4学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。」の肯定割合は85.2%と高く、県よりも1ポイント高い。「学習して身に付けたことは、しょう来の仕事や生活の中で役に立つと思う。」の肯定割合は94.2%、「勉強していて、『不思議だな』『なぜだろう』と覚えることがある。」の肯定割合は86.8%ととても高い。学習に興味をもっている児童が多いことが分かる。前向きな学習意欲を大切に、学びが実生活に活用できるような指導を続けていきたい。

○「自分はクラスの人の役に立っていると思う」の肯定割合が71.1%で県の平均より2.5ポイント上回っていた。また、「自分には、よいところがあると思う。」では肯定割合が85.9%で県の平均より上回っている。自分のよさを周りから認められることで、友達によさにも目を向けられるようになると考える。児童が自分のよさを発揮できるような役割や場を与えて自己肯定感を高めていくとともに、お互いのよさを大切にできるような学級づくりに努めていく。

●「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている。」の肯定割合は61.2%で県よりも3ポイント低かった。また、「家で、学校の授業の復習をしている」の肯定割合は61.6%、「家でテストでまちがえた問題について勉強をしている。」の肯定割合は62%で、いずれも県平均よりも5ポイント以上下回っている。4年生になり自主学習も子供たち自身で内容を決めて取り組み始めている。授業やテストの復習も自主学習になることを伝え、復習の方法などを示しながら、家庭学習の習慣を身に付けていきたい。

●「ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやDVD、動画などを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームはのぞく)。」の質問では、「4時間以上」視聴してる割合が県平均より1.8ポイント上回り、「3時間以上4時間未満」視聴している割合は4.3ポイント上回っていることから、動画を視聴する時間がとても長いことが分かる。今後、さらにスマートフォン等を所持する児童が増え、長時間動画を視聴する児童の割合が高くなると想定されることから、学級活動や保健の授業での時間の使い方や、健康面で気を付けることを児童と確認するだけでなく、学年集会や学年だよりなども活用して、児童と保護者の両方に指導・啓発していく。